

除雪作業中の事故につながる危険なシーン



キケン1 はしごから落ちる

- ・はしごの足元をしっかりと固定する
- ・ずれないように補助者に支えてもらう
- ・はしごの上部が安定していることを確認する

キケン2 屋根から落ちる

- ・晴れて暖かくなると屋根の表面の雪が解けて滑りやすくなる
- ・スノーダンプでの作業中に重みで引きずられることも。そんな時は無理せず、すぐに手を離す
- ・低い屋根でも要注意

キケン3 流雪溝や川へ転落

- ・流雪溝の雪詰まりをスコップで解消した際に、急に水流が戻るとスコップなどと一緒に流されるので要注意

キケン4 作業中に急な発作

- ・持病のある場合は無理は禁物
- ・経験や体力を過信しない
- ・こまめな休憩をとる

キケン5 屋根からの落雪

- ・軒先には不用意に近づかない
- ・軒先の雪庇やつらら落としの際は要注意

キケン6 交通事故

- ・前方だけでなく、後方の車や除雪車などに注意

キケン7 除雪機の操作ミス

- ・除雪機の雪詰まりは必ずエンジンを切ってから
- ・雪を飛ばす際は周囲を確認する

キケン8 滑って転ぶ

- ・滑りにくい長靴などを選ぶ

屋根雪下ろし作業手順書

屋根雪下ろし中の事故は、重大事故になりやすいので、作業手順書を参考に、安全に作業しましょう！

1 準備運動はしっかりと

- ・除雪作業前には準備体操をする

2 服装は万全に

- ・除雪作業で汗をかくので、作業中に体温調節できるように、重ね着がオススメ

3 体調管理

- ・体調管理に気を配り、疲れているときや風邪をひいているときは激しい作業はしない

4 気象情報など

- ・風が強く視界が悪い時や早朝、夕方など薄暗い時間帯は避ける
- ・晴れて、気温が高いときは、屋根の雪が緩み滑りやすくなるので注意

5 2人以上の作業

- ・もしものために、2人以上の作業を。やむを得ず、1人で行う場合は、家族や隣近所に声掛けする

6 周りの状況を十分把握

- ・雪を下ろす場所に窓ガラスや灯油タンク、室外機などがないか確認し、必要に応じて板をあてるなどの対策を
- ・雪を下ろす際には、通行人や通行車両に注意
- ・雪下ろしのときは、家屋のまわりに雪を残しておく（落下したときの被害軽減）
- ・雪下ろし後は、住宅まわりの除雪を行う

7 使いやすい除雪道具など

- ・スコップやスノーダンプなど使いやすい道具で作業
- ・緊急事態に備え、携帯電話や笛（ホイッスル）などを携行



8 体全体を使う

- ・腕の力だけに頼らず、足や腰を使う。腰を曲げずにひざを曲げ、体全体で雪を持ち上げる。体をひねるように雪を捨てるのは、腰や手首を痛める原因になる

9 無理をしない

- ・除雪は重労働。作業中、身体に異変を感じたら、作業を中断。こまめな水分補給と休憩を

10 油断禁物

- ・作業の始めと終わりは要注意
- ・自分の年齢や体力に対する過信はないか。除雪に対する慣れや過信、油断が事故を招く



発行元：大野市防災防犯課

住 所：大野市天神町1-1

☎ : 0779-64-4800

作成 令和7年12月

作業の進め方

①はしごの固定

屋根から雪庇が張り出し、軒先へはしごを架けることが難しい場合は、雪庇を落としてから架ける

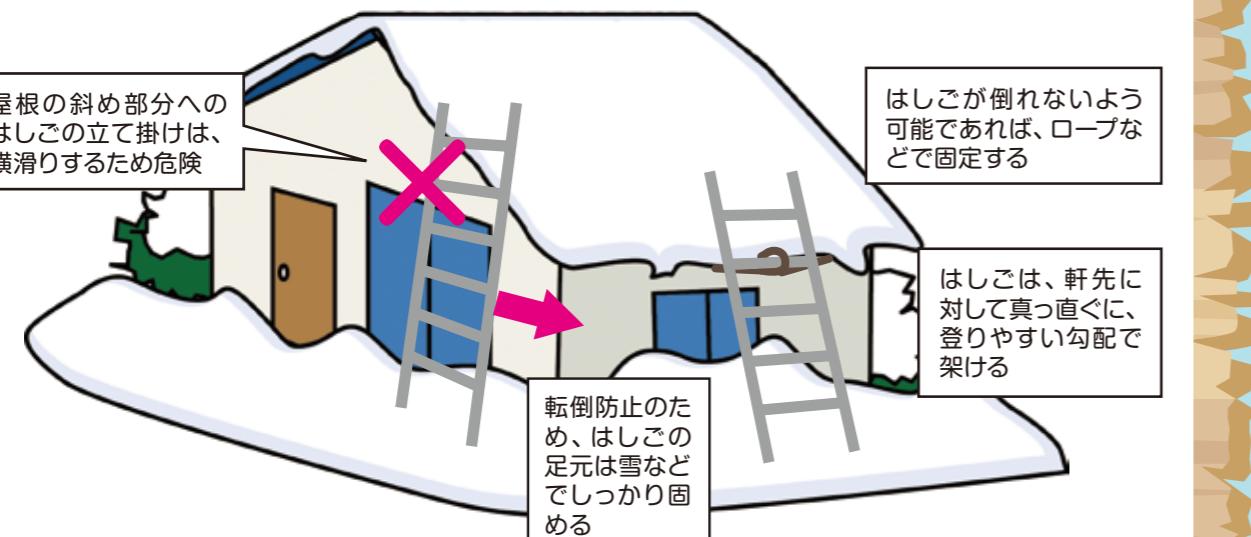
はしごは長さに余裕のあるものを使用し、屋根へ登り降りしやすい高さで立てる

屋根の斜め部分へのはしごの立て掛けは、横滑りするため危険

はしごが倒れないよう可能であれば、ロープなどで固定する

はしごは、軒先に対して真っ直ぐに、登りやすい勾配で架ける

転倒防止のため、はしごの足元は雪などでしっかりと固める



③屋根雪を下ろす

登る前に、軒先（屋根の境界）の位置を確認してから作業する

屋根の上のほうなど安全な場所から作業をはじめ、足元の雪をしっかりと固めながら作業範囲を広げていく

軒先の雪が屋根の端からどれだけ張り出しているか分かりにくいため、屋根の端にはなるべく近づかず慎重に作業する

体を屋根に対して横向きにし、足の踏ん張りを効かせ作業する

軒先の雪が少ない状態で架かっているはしごでは、横滑りする危険があるので、ある程度雪を残す

体は横向き

雪止めより先には行かない

雪止めより上部に足場をつくり作業し、最後に足場から下の軒先部分の雪を落とす

足場を作る

サラメ雪
雪止め
新雪

<注意!> 屋根が見えるまで雪を下ろさない。
また、屋根のすぐ上のザラメ雪は大変滑りやすいので、ザラメ雪を踏んで滑らないよう20~30センチの厚さで雪を残す

②屋根に登る

屋根に登ったら、なるべく上にあがり、身の安全を確保する

はしごから屋根に移る前に、雪をかいて足場を確保する

はしごから屋根に移る際は、屋根の上に確実に足を乗せられることを確認する

登り降りの際は補助者に支えてもらう

屋根の上にアンカーがある場合はアンカーと命綱をつなぎ、屋根から落ちない長さに調整する。命綱はハーネス（安全帯）とつないで使う

滑らないよう、はしごを登る前に靴底についた雪を落とす



④屋根から降りる

除雪用具は、先に屋根から下ろしておき、身軽に降りられるようにする

作業後の疲れや気の緩みが事故につながるので、最後まで気を緩めず、一段一段しっかりと降りる



⑤あとしまつ

- ・道路へ落とした雪は、人や車両の通行の妨げとなるので片づける
- ・屋根から道路へ、自然に落ちた雪も、通行の妨げとなるので片づける
- ・隣近所とのトラブルとならないよう、こまめに雪を片づける
- ・除雪道具を清掃し、次の除雪に備える
- ・体をゆっくり休め、風邪をひかないようにする

